

城里町議会運営委員会会議録

日時 令和2年2月25日(火)

午後 1時55分

場所 城里町役場 3階 委員会室

出席委員(7名)

委員長	関 誠一郎 君	副委員長	鯉 渕 秀 雄 君
	小 林 祥 宏 君		河原井 大 介 君
	藺 部 一 君		片 岡 藏 之 君
	藤 咲 芙美子 君		

欠席委員(なし)

地方自治法第105条の規定により出席した者(1名)

議 長 小 坏 孝 君

説明のため出席した者の職氏名

まちづくり戦略課長	大曾根 直 美
総務課長	鯉 渕 和 己
財務課長	山 崎 秀 樹

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	阿久津 雅 志
書 記	町 田 めぐみ
書 記	高 丸 哲 史

議会運営委員会次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議長挨拶
- 4 協議事項

(1) 令和2年第1回議会定例会の運営について

- ① 議事日程（案）について （資料1）
- ② 一般質問について （資料2）
- ③ 会期日程（案）について （資料3）
- ④ 当初予算の取扱いと審議方法について（資料4）
 - ・ 予算特別委員会の設置
 - ・ 令和2年第1回城里町議会定例会予算特別委員会議案付託表

(2) その他

5 閉 会

午後 1時55分開会

開 会

○委員長（関 誠一郎君） 定刻前なんですけれども、皆さんおそろいですので始めたいと思います。

ただいまから、令和2年第1回議会定例会開催に伴う議会運営委員会を開会いたします。

委員長挨拶

○委員長（関 誠一郎君） 委員各位におかれましては、なにかとご多用中のところご出席をいただき、大変ご苦労さまです。

さて、今回の会議は来たる3月3日に予定されております、令和2年第1回議会定例会に提案される予定の案件及び一般質問等について確認し、会期日程について審議を決定するものであります。

慎重なる審議と委員会運営には特段のご協力をお願いいたし、開会の挨拶といたします。

議長挨拶

○委員長（関 誠一郎君） なお、本日小坪議長が出席されておりますので、ご挨拶をいただきたいと思います。

○議長（小坪 孝君） 皆さんどうもご苦労さまでございます。

令和2年第1回定例会に向けましての議会運営委員会、ご苦労さまでございます。慎重審議をよろしくお願いいたしまして、挨拶といたします。

本日はご苦労さまでございます。

○委員長（関 誠一郎君） ありがとうございます。

協議事項

○委員長（関 誠一郎君） それでは、早速ですが、審議に入ります。

まず（1）令和2年第1回議会定例会の運営についてを議題といたします。

最初に、①議事日程（案）について事務局より説明を求めます。

事務局。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、議事日程につきましてご説明申し上げます。
1 ページの資料ナンバー 1、議事日程をご覧ください。

日程第 1 につきましては、会議録署名議員の指名、日程第 2 は会期の決定でございます。
定例会の案件は日程第 3 からでございます。

日程第 3、承認第 1 号 専決処分第 1 号（令和元年度城里町一般会計補正予算第 8 号）
の承認を求めることについてから日程第 33、議案第 30 号 城里町教育委員会委員の任命に
ついて同意を求めることについての 31 件でございます。

次に、人事案件の日程第 34、城里町議会常任委員会委員の選任について及び日程第 35、
城里町議会運営委員会委員の選任についての 2 件であります。これは、町議会委員会条
例の第 2 条、第 3 条、第 4 条により常任委員会委員及び議会運営委員会委員の任期が 2 年
と定められておりますので、今定例会に上程したものでございます。

最後に、報告関係でございます。日程第 36、報告第 1 号から城里町自動車の臨時運行許
可に関する規則の一部を改正する規則から日程第 66、報告第 31 号 例月出納検査報告（12
月、1 月、2 月執行分）の 31 件となっております。

なお、請願・陳情であります。今定例会提出はございませんでした。

以上、今定例会に提案されますのは、承認 2 件、議案 29 件、人事案件 2 件、報告 31 件、
合わせて 64 件でございます。

議事日程についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） それで説明が終わりましたので、ここで議事日程（案）に対
するご意見、ご質問がございましたらお受けいたします。

よろしいでしょうか。

鯉淵委員。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 議会の人事案件が出ているんですが、議長、副議長だけする
んですか。

○委員長（関 誠一郎君） 事務局。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 規則で、委員は 2 年の任期になってございますが、議
長については、任期は 4 年となっておりますので、事務局からの提案はございません。

これは、各議員さんの提案でお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（関 誠一郎君） 条例で任期は決まっているから。

○副委員長（鯉淵秀雄君） うん。前回、話合いはなかったんですか。

○議会事務局長（阿久津雅志君） いままでのこの場ではない。

○委員長（関 誠一郎君） ないですね。議運としてはなくて、結局控室の中で皆さんと
協議した経緯があるかと思うんですけれども。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 現在、議長、副議長続投ということで理解してよろしいんで

すか。

○委員長（関 誠一郎君） いや、それは何ともまだ分からない。

小林委員。

○委員（小林祥宏君） 正副議長、確かに条例では4年ということになっておりますけれども、今の状況から見ると、茨城県町村内、大体4年の任期だけれども、2年で改選しているような状況だと思います。

県会だって1年、それは、後はその辺が、それは皆さんが推薦してやればいいんだけど、その辺はちゃんとよく審議したほうがいいではないかと思えますけれども。

私は、これから行くのに、四年、四年となってくるとなかなか難しくなってくるんじゃないのですか。どうなんですか、これ。これ、議運で審議するあれじゃないの。

○委員長（関 誠一郎君） 前のときは小松崎さんのときは議運でやって。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だから、要は、小松崎さんには一応辞表を出させて再任という形を取らしたという。

○委員長（関 誠一郎君） 辞表って、受け取ったというのはあるんですか、小松崎議長からは。

○議会事務局長（阿久津雅志君） その時いなかったもので、ごめんなさい。

○副委員長（鯉淵秀雄君） でも、そうしておかないと、後々これ、じゃ、4年の任期でずっと行くのかという。

○委員（小林祥宏君） 難しいでしょう、これ。常任委員長を決めるとか何とかと言っているからな。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だって、今まで議長選任で常任委員会をやっていたんだから、議長が続投ということであれば、議長が決めればいいことなただけけれども、これ、議長交代と言ったら、新しい議長が委員会人事に入るわけでしょう。

○委員長（関 誠一郎君） そうですね。

○副委員長（鯉淵秀雄君） これ、どうするんですか。これ、議運でもんでおかないと、後、追加日程というわけにはいかないでしょう。

議長、どうですか。

一応出して、再任という形をとったらいいでしょう。

○議長（小坏 孝君） 非常に、皆さんにご心配かけて申し訳ございません。

私も、多くの皆さんに続投でやってくださいという声が非常に多いものですから、本当に4年間、それで紳士協定で2年前に皆さんに推挙いただいたときに、2年という紳士協定も決めておりませんでしたので、それで、前の小松崎議長に対しても4年という続投で、その時にも辞表を書いてもらわないで委員会改選だけやっておりますので、今のところ辞めるつもりはありませんので、委員会改選だけよろしくお願いします。

○委員長（関 誠一郎君） 何か辞表はないと言うんだね。

○副委員長（鯉渕秀雄君） たしか出させたと思うんだけども。

○委員（小林祥宏君） これ、議長あえて続投ということで、皆さんの推薦はあったの。続投してくれと。

○議長（小坏 孝君） 非常に今、裁判もやっている最中ですので、議長という形で裁判終結して、いろんな問題が終結するまで、議長続けてくださいという意見がありますので、何とぞよろしく願いいたします。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 辞表を出して再選のほうがいいんじゃないの。

○議長（小坏 孝君） いや、一連の事件が解決するまで、もう一回。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 続投という声があるのであれば、これでいいでしょう。

一応辞任をして再選を受ければ。そうしないと、なかなか後半は難しくなるような気がするけれども。

○委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。

○委員（片岡藏之君） ちなみに、議長がそういう形でみんなから推薦というか、やってくれというような形を受けているというならば、一度、辞表を出してもらって、それでまた、みんながそういう形で、推薦という形を受けていけば、そういう形で、やってもらったほうが。新たな形で。

○議長（小坏 孝君） いや、選挙はやりませんので、要するに委員会だけ改選いたしますので、よろしく願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。

○委員（片岡藏之君） じゃ、副議長は、他人のことだから分からないですか。

○議長（小坏 孝君） 副議長、正副議長は、改選のあれに入っていないので、続投という形で今のところ考えています。

○委員（片岡藏之君） じゃ、副議長もそういう形で言っているんですか。

○議長（小坏 孝君） いや、人のことは分かりません。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲美美子君） これは、今までは、正確にちょっとどうだったのかをお聞きしたいんですけども、どうだったのでしょうか。

○委員長（関 誠一郎君） 今までは、辞表という形は出さなかったと思う。ただ、辞めるというお話はして、それで、次の議長はどうしようかという形の中で、小松崎さんの例を挙げちゃいますけれども、小松崎さんやったらどうでしょうかという話になって、3期やったわけです。

○委員（藤咲美美子君） その前は。

○委員長（関 誠一郎君） その前はちょっと記憶に。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 前は、大体、みんな紳士協定の中で、大体2年で交代してきたんです。

○委員（藤咲芙美子君） 2年ずつ。

交代するときというのが、この議運をやる前に委員会を開いてやったんですか。それとも、定例会の後に今回の定例からということにしたんですか。

○副委員長（鯉淵秀雄君） いや、おおむね、ここに入っていたんですよ、今まで、議長選というのは。ただ、今回は、これ事務局としては提案しませんと言うんですから。

○議長（小坏 孝君） それは、藤咲さん、議長選挙やる前に、何年にしますかと言って皆さんで、2年という形で決めてやっている形で、今回決めないで、決まっておりますので。

○委員（藤咲芙美子君） その決めないでというのは、何か定例会議という……

○議長（小坏 孝君） 違う違う。

○委員（藤咲芙美子君） 恒例か、それとも。

○議長（小坏 孝君） 議長選挙の前で。

○委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。

○委員（河原井大介君） 一回、そこを整理したいと思うんですけれども、いずれにしろ、今定例会で、これ委員会改選は、予算委員会がありますよね。任期は、その一番大事なことはまず委員会ですけれども、この委員会というのは、任期中である予算委員会が終わった後に改選になるのか、冒頭になるのかというのは、そこは法的なルール上はあれですね、任期満了はまだなんですね。

○委員長（関 誠一郎君） まだです。予算委員会が終わってから。

○委員（河原井大介君） ですよ。だから、委員会が終わってから委員会をまずやるわけですよ。

今までの感じだと、会期が始まってから、議長さんあたりは辞職願いを出されていて、その中で選挙なり調整なりはしていたと思うんですけれども、だから結局、局長もさっき言いましたけれども、法的な感覚でいえば、議長、副議長選挙があるかないかについては分からないんです。なぜならば会期が始まってないから。

だから、会期が始まってからのことなんです、あくまでも。

ただ、委員会の改選については、これ大事なことは、今分かっていることは、この予算委員会が終わってからの任期が満了すると。ということは、私と菌部さんが委員長のもとでやるということでもいいのかどうかという確認が必要だと思ったので。まず、それでいいかということです。

○委員長（関 誠一郎君） 事務局。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 任期2年となっていますので、平成30年3月22日に決定していますので、3月21日までが任期となっています。それで、今回改選になった場合は、2年になってからが任期という形になります。

それから、先ほど来出ております議長選につきましてなんですが、これは、法律的に4

年ですので、事前にこの議案に載せることはなく、常に国会なんかもそうですけれども、いきなり辞表が出されて、それを受けての臨時というか、追加日程になります。

ただ、今、議長から辞表が出されましたということで副議長に代わって、控室の話は表には出ませんが、そこで決まって報告されるという流れになります。

○委員（河原井大介君） そうすると、議長のほうは、辞められるという意見は、それはそれでこの議運の中で聞いたということですが、いずれにしても分からないわけですよ、会期中にならないと。会期が始まってからですから。それはそれでいいんじゃないですか、会期が始まってから。

○委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。

○委員（片岡藏之君） 予算委員会でも、ちなみに今回の予算、当初が決まるまで、今までの委員会でやるということですよ。

そうするというと、今期の常任委員会の当初の予算をやるのが、1回で終わっちゃうんですよね、次、改選になっちゃいますから。

○委員（河原井大介君） 後期の人がということですか。

○委員（片岡藏之君） うん。

○委員（河原井大介君） それは確かに。今まで、そのとおりですから。

○委員（片岡藏之君） ということは、後期のあれが意味がなくなっちゃおうと思うんだけど。後期もやっぱり、2回、予算委員会をやらないというとおかしいんじゃないですか。

○委員長（関 誠一郎君） それは、やはり結局、前常任委員会、それに予算委員会をやった中で、それを受けての新たな常任委員会のスタートになるわけだから、またやるというの、前の日程で承認された中で、またその予算委員会を常任委員会でやるということもまたおかしいことでもありますから。

河原井委員。

○委員（河原井大介君） もし、先ほど言ったように、後期の人が2回予算をひけないと言うのであれば、23日に予算委員会開いてもいいわけで、これあくまでも今、これから考えるスケジュールというのは、あくまでも予定なんです。だから、議会運営委員会の調整もこれから考えればいいだけの話で、だから、3月22日を会期に、まあ、23日から、3月からやってみようか決めるんだもの。

でも、それって、現実的に難しいテーマじゃないですか。だから難しいから、今までの流れ、慣例という流れでいくと、1回しかできないっていうね。委員長が言う。

○委員長（関 誠一郎君） 今までそれでやってきたんだから、しょうがないにしても。

○委員（河原井大介君） でも、それは言い得ないことじゃないと思うんです。

○委員長（関 誠一郎君） それは、片岡委員が言うのは分かるんですけども、ただ予算を、それじゃ遡ってもう一回審議という形になると、1回、予算をこの3月で通しちゃ

って、また今年新たな常任委員会で予算審議して、それ差し戻しだという、これはなかなか難しい。

○委員（片岡藏之君） それはね。

○委員（河原井大介君） いいと思う、やっても構わないと思うんですけど、もう一回。片岡さん、もう一回やってもいいんですよ、後で。これ、いいのかどうかの話です。

〔発言する者あり〕

○副委員長（鯉渚秀雄君） だから、僕らの任期は今聞いて確認したら、3月11日までと。ということは、今期の議長さんはかなり短くなっちゃうんだね。だから、本来であればやっぱり人事案件は先議をして、最終日に議長と副議長の指名、祝賀会を予定できれば一番いいんだけど。前から言っていたんだけど、なかなか事務局がうんと言ってくれない。要は先議をして、最終日に議長と……

○議会事務局長（阿久津雅志君） 私じゃなくて、今までずっとが、こう。

○副委員長（鯉渚秀雄君） ずっと言っていましたんで、僕が議長時代から。だけど、なかなか難しくて。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 私も、過去のを調べて、今までのとおり、ちょっと難しいことは分かりませんので。例年どおりのやり方でいっているつもりでございます。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲美子君） もし、3月23日までの任期ということであれば、それは任期は任期でいいとして、その前に、やっぱり議長選とか、それから委員長、委員会の改選とか、そういうものをやって、こういうふうになります、来期はこうなりますというふうにしたとしても、3月23日までは今までやっていた、継続している人たちが担っていくというようにすることにして、次の代から変えていくというふうにはすることはできないんですか。

だから、3月23日まで会期だから、3月23日が終わってから改めて変えてもいいんじゃないかという意見もあるかもしれないけれども、この議運の中で、きちんとやっぱり、それは表示しておいたほうがよさそうな気がする。

○副委員長（鯉渚秀雄君） だから、3月23日を基本に置くよりも、要するに、僕らの議員の任期3月11日、これを頭に入れておいたほうがいいと思いますよ23日より。3月11日が議員の任期ということで。

○委員（小林祥宏君） それが基本です。

○副委員長（鯉渚秀雄君） それが基本だと思うんです。ということは、やっぱり3月は、人事案件は先議でいくのがやっぱりいいのかなと。今後のためにも。

そうすると、2年前に決めた人事でいくと、要するに僕らは総務ですから、総務で3回審議するというので、予算審議に入るわけですよ。後の人は1度しかできないということになるんです。だから、先議でやっぱり委員会替えをして、それでいくのが一番いいのかなと、後々のためにもいいのかなと思いますけれども。

○委員（藤咲芙美子君） もし、今、議長から要望があったということでやるのであれば、鯉渕議員さんの、副委員長の言ってることに加えてでもあるんですけども、要するに、何か恒例で今までずっと2年、2年でやっていたものが、今回は議員から要望があったから、続投するからといって選挙をやらないでやってしまうと、慣例をつくってしまうのかなというようなこととか、そういうものもきちんと規約とか、そういうのをきちんとつくった上で、こういうときにはこういうふうにするとか、こういうときにはこうなんだよというようなことで、きちんとやっていかなければ、そのときの気持ちでこうなったからというふうになったんでは、やっぱりよくないんじゃないかなというのを感じるんです。

ですので、やるんだったら2年ということできちんとやるのであれば、要望があったら、要望があったなりの状況で、何人かの人たちに推薦を受けるでしょうから、選挙をやって、そして次にもう一度引き続いてもらうというような、あと2年間引き続いてもらうというようなことでも可能かなと。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 僕はそう思う。再任という形をとってやっというほうが、後々きちんと2年という、紳士協定みたいなものがまとまってと思いますので。

○委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。

○委員（河原井大介君） いまいち、よく分かんないんですけども、そうすると結局のところは会期の前に決めるということですか。

○委員（藤咲芙美子君） 会期前に決めるんでしょうね。

○委員（河原井大介君） 要は、初日の日に人事をやるということ。

○委員（藤咲芙美子君） そうだね。

○委員（河原井大介君） そしたら、これ予算委員会も変わっちゃうんですよね。構成メンバーが。

○副委員長（鯉渕秀雄君） そうすると、委員会変えでも、2回、2回の予算審議ができるということです。だから、当初でいけば3度、僕ら総務ですから総務で3度、予算審議をするということになります。

○委員（河原井大介君） 今までやっていましたよね。

○副委員長（鯉渕秀雄君） うん。だから、たまたま議長選が入っていなかったんで、そういうふうにしたらどうですかというような話で。

○委員（河原井大介君） でも別に、それは正副議長が判断する話で。決まった人が。だから会期になってからじゃないと分からないですね。辞めるか辞めないか分からないですね。まだ分からないですね、誰も。

だから、会期中にならないと分かんない話の予定の話というのが、別に今のところできないから、予定としてはこういう形なんだけれども、この後、議論されるんでしょうけれども。でも別に、それはなったらなったで、調整いくらでも、休会はたくさんあるし、調整はきくんじゃないですか。予算委員会って……

○副委員長（鯉渚秀雄君） ある程度、議運の中でまとめておかないと、後で日程追加にしても何にしてもこれはできないでしょう。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、常任委員会に関しては今までこの流れでやってきたんですよね。

○副委員長（鯉渚秀雄君） ただ、後々のために、これは変えたらどうですかということですか。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） それが、きちんと今までも、要するに委員の、ほかの議員さんたちの多くの要望があったときには、4年間というか、後半の2年も続けていいですよという規約とか何かというのは、申し合わせとかそういうのがあったんですか。

○委員長（関 誠一郎君） それはない。

○委員（小林祥宏君） 法的に、4年ということになっていますから、あと正副議長のどういうふうにするかと。

今までは、結局2年が交代という形が、紳士協定のような形で。そのとき言わなかったからって、言えばそれまでだけれども、普通はそういうことで2年、2年でやってきた状況だなと思う。

○委員（藤咲芙美子君） この際、きちんとやっぱり決めておいていいんじゃないかなと思うんですけども、規約とか申し合わせ項目に入れてもいいのかなと思うんですけども。

○副委員長（鯉渚秀雄君） そこも難しいところなんです。要するに、議会の改選になるでしょ。改選後の議会というのが、また変わった形になるかもしれない。

○委員（藤咲芙美子君） だから、改選になったらなったで、そのときにまたみんな、これから考えればいいじゃないですか。でも、この恒例というものを変えていくというのはどうなるのかな。2年というの。今回、4年間そのまま続投するというようなことで言って、2年間落ち着いてやっていたし、これからも要望したいという人がいて続投してほしいという声があったんだと思うんです。だから、それはそれでいいんですけども、そのまま鵜呑みにしちゃっていいのかなというのを私は心配している。それだけの話。

○副委員長（鯉渚秀雄君） ですから、結局、一度辞任をして、再任という形でやっていただければありがたいというの。

○委員（藤咲芙美子君） そうですね。再任という形であれば。

○副委員長（鯉渚秀雄君） 問題ないでしょう。そうすると、2年という形が残っていくわけですから。

○委員（藤咲芙美子君） だから、それはやっぱりきちんと申し合わせ事項としてやっておいたほうがいいと思うんです。

○委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。

○委員（片岡藏之君） 議会なんですから、紳士協定というのは重く受け止めてもらいたいと思うんですね、やっぱり。それで、何も再任されればそれでいいわけだから。

○委員（河原井大介君） 今もちゃんとやりたいと言うんじゃないんですか。

○議長（小坏 孝君） やりたくても、この予定でいかないと。ごちゃごちゃになっちゃうから。

○委員（河原井大介君） 委員会改選は、これ一応最終日になっていますね。13日金曜日。これは、ナンバー3の話で、今の議論、後でやったほうがいいんじゃないですか、これ。スケジュール調整も必要だから。

それ、書かれちゃっているんですね、ここに。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 会期日程を整理しちゃう。

○委員（河原井大介君） こっちだけやったらいいんじゃないですか、とりあえず。

○委員（片岡藏之君） ここで、とりあえず日程のあれで、のっているから、これでもいいな。

○委員長（関 誠一郎君） じゃ、今一番目ですので、3番目に、会期日程の件がありますので、そのときに議題としたいと思うんで。

会期日程（案）について進行してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） 3番目にありますので。今回議事日程ですから。3番目に会期日程ありますから、それにまた審議していただきたいと思います。

それでは次に、②番の一般質問について議題といたします。

事務局より説明を求めます。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは説明いたします。

4ページの資料2番をお願いいたします。

今回、この一般質問につきましては5名の議員さんから通告がございました。

まず、1人目といたしまして、4番、藤咲議員より通告がございました。次に、8番、河原井議員。1番、桜井議員。3番、猿田委員。最後に7番、三村議員の計5名の一般質問の通告がございました。

質問内容につきましては、資料ナンバー2の4ページから8ページに記載されておりでございます。

以上、一般質問についてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） 一般質問について説明が終わりました。

事務局の説明どおり、質問者は計5名ということで決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） ありがとうございます。

次に、③会期日程（案）についてを議題といたします。

事務局より説明を求めます。

○**議会事務局長（阿久津雅志君）** それでは、説明いたします。9ページの資料ナンバー3番をお願いいたします。

令和2年から、議会定例会の各会期日程について、議会運営委員会において事前に決めてはいただいておりますが、来月開催されます令和2年第1回議会定例会について確認のため、説明をさせていただきます。

第1回議会定例会の開催につきましては、3月3日火曜日が初日になるところでございます。

初日は、施政方針、提案理由の説明、議案質疑、委員会付託等を行いまして、散会となる日程となっております。

4日水曜日、5日木曜日につきましては、後ほどご審議いただきたいと存じますが、令和2年度一般会計等の予算について特別委員会を組織し、付託の上、各常任委員会毎の審査日とするものでございます。

なお、4日は総務民生常任委員会。5日は教育産業常任委員会の審査を予定したものでございます。10日火曜日には、一般質問を予定してございます。

なお、先ほどご説明申し上げましたとおり、今回一般質問者は5名でございます。

13日金曜日に関しましては、委員長報告、議案質疑、討論、採決、常任委員会委員の選任等、報告を行いまして閉会としたものでございます。

以上のように、3月3日から13日までの11日間を第1回議会定例会の会期日程としたものでございます。

なお、10ページには参考までに、昨年の、31年第1回議会定例会の会期日程をお載せしてございます。

事務局からは以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○**委員長（関 誠一郎君）** ありがとうございます。

ただいま会期日程（案）について事務局から説明がございましたが、皆さんからご意見が出ております常任委員会の問題等々を、この日程に含めて、予算委員会をずらしていくのか、その辺を再度協議していきたいと思っております。

○**委員（河原井大介君）** 先ほど来のお話を一回整理していきたいんですけども、2年、2年で委員長を交代して予算委員会をやったほうがいいんじゃないかというご意見、ごもっともだと思います、私もそうなんですけど、ただ、13日金曜日に本会議場で常任委員会の選任と書いてあるのですが、これを前倒しして初日に決めるのか。そうすると、予算委員会の委員会構成も変わって来たりしますけれども、この日程で予算委員会とかも可能なのかどうか。新しい常任委員会、できなくはないでしょうけれども、それはどうなのかという議論と、いつ委員の選任等について、どこの位置で会期の日程中にやるのかを確認しなきゃいけないと思うんですけど、整理しなきゃいけないと思うんですけど。

- 委員長（関 誠一郎君） そうですね。最終日の委員長報告等々ありますから。
- 委員（河原井大介君） 全部まとまっていますよね。
- 委員長（関 誠一郎君） ええ。その辺も、日程の調整はしていかなくちゃならない。
- 委員（河原井大介君） これはいつやったらいいんですかね。委員会改選、逆に。
- 委員長（関 誠一郎君） 委員会改選をすると、ずっと遅れる、日程が遅れる。
- 委員（河原井大介君） 結論から言うと、混乱しないのであれば、このスケジュールでいいし。調整するのであれば、もう一回調整しなきゃいけないでしょう。
- 委員長（関 誠一郎君） 委員会1回しかできない、3回やるというようなお話ですけども。ただ、今まで、こういう流れで常任委員会やってきましたので、今後、来年度に向けての検討課題ということでどうでしょうか。
- 議会事務局長（阿久津雅志君） 2年後。
- 委員長（関 誠一郎君） 4年後。
- 委員（小林祥宏君） 4年後はすっきりするんですか、もう。
- 副委員長（鯉渕秀雄君） 今、決めておけばね。
- 委員（小林祥宏君） 改選のときは、それ委員が決まってないんだ。
- 委員長（関 誠一郎君） 改選のときは当初初日ね。最初に決めちゃう。
- 委員（小林祥宏君） それをやらなきゃならない。正副議長が、いずれにしても。
- 委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。
- 委員（河原井大介君） 再度確認なんですけど、これは、本会議上でしか、委員会の確認というのはできないんですよ、一応、条例上。
- じゃ、初日に持ってきますか。
- 副委員長（鯉渕秀雄君） いずれにしても、議長が辞任、再任をとという形をとらないと、ということであるならば、議論しても始まらないということですから。
- だから、本来であるならば、やっぱり再任という形をとってほしいなと。だって、それだけ、結局皆さんからの要望があるということになれば、再任というのは間違いはないんですもの。それで、そうしてくれるならばありがたいなと。そうすると、いろんな議論ができるんですが。
- 委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。
- 委員（片岡藏之君） さっきも途中で言ったんですけども、やっぱり議会なんですから、紳士協定という形で、ある程度、議会の流れは、そういう流れでいっていると思うんです。
- だから、とりあえず自分で次できるという自信がおありであっても、とりあえずは一回辞表を出してもらって、それでまた再選という形を受けたほうが、町民の、さすが議会だねという形になると思うんです。
- 例え話で名前を出しては申し訳ないんですけども、長くやられた人がおりまして、あ

のときは町民の間から結構議会に対していろいろありましたよね。任期が4年だからしゃあんめえというような話が、聞いていましたけれども。

ある程度、けじめはけじめとしてつけておいたほうが、後々議会としてもいいんじゃないかなとは思いますが、

○委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。

○委員（河原井大介君） 議長とか委員長の、今、話もあると思うんですけども、その前に委員会の話でしたよね。

会期の日程上、どこに委員会改選を決めるかという議論ですよ。

○委員長（関 誠一郎君） その話もありましたね。

○委員（河原井大介君） ですよ。そしたら決めてからでいいんじゃないですか。だって委員会構成を決めてからで、いつ委員会構成を決めるかでいいんじゃないですか。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だから、委員会構成は議長が決まらないと決まらないでしょうよ。

○委員（河原井大介君） やるって言っているんだもん、どうやってですか。今、4年間できると言っているんですよ。

○副委員長（鯉淵秀雄君） それだから、続投にしろ、何しろ、一応辞表を出して再任をお願いしたいと要望はしているんですが。その議長選が決まらないことには委員会人事できないでしょう。

○議長（小坏 孝君） 議長選はありませんので、何とぞ委員会改選だけよろしくお願いします。

○委員（河原井大介君） 会期が始まってからの話ですよ、それは。

○議長（小坏 孝君） 最後でいいんじゃないの。予算委員会もやって、委員長候補になるんだったら、全てあるから。

○委員（河原井大介君） 初日変えたって構いはしないんですけども。

○副委員長（鯉淵秀雄君） いや、議長選がなければ、最終日でも……

議長選があれば、できれば3月11日、僕らの任期に合わせる形でやっていただければ、後々そういう形が残っていくということだと思うんです。

○委員（小林祥宏君） 今の常任委員でやると、質問なんかも難しくなってくるんだな。典型的な。ここが問題なんだよ。

○委員長（関 誠一郎君） 新たに変ったら、答弁できなくなっちゃう。

○委員（小林祥宏君） 所管外のものをすると。質問すると。常任委員会で質問するからと。

○委員長（関 誠一郎君） だから、これが全て狂ってきちゃう。

○委員（河原井大介君） 整理すると、議長が決めることなだけども、辞めないんだったら、難しいし、辞めたとしても、改選はタイミングでいつになるかという、いろいろ

話になりますね。ただ、ちょっとミックスしちゃっているから、話が今。

○委員（片岡藏之君） 本来ならば、一緒にやりたい。

○委員（河原井大介君） とりあえず、このスケジュールでやるのか、ちょっと流動的になるかもしれないということの確認なのか、そこだけはちゃんとしてもらったほうがいいんですけど。とりあえずこれ出していて、まずは3月議会の予定、スケジュール、これで。

○委員長（関 誠一郎君） ほかに、皆様のご意見を聞きたいです。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だれが考えたって4年やったほうが楽で、いいですもん。2年で替わるより。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） もし、今回3月に今までと同じように予算委員会やったとして、やれば今までどおりで、私たちもそのつもりで予算に臨んだりとかできますけれども、もしこれを変えとなると、ちょっと大変なことになるんです。だから、この予算委員会をどこで決めるかというの、さっきからすごく悩んでいるというようなことなんですけれども、私もそれは非常に感じます。

だから、その前に議長を決めるというのは、鯉淵議員さんが言っていることなんですけれども、じゃ、その議長が、これから続投したいと言っていることに対して、皆さんどんなふうに思っているか、それからどんなふうにしたらいいかというようなことで、ちょっと煮詰めて話ししてみたらどうかと思うんですけれども。

そこが決まらなると多分進まないかなと思います。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、議長が、とにかく続投でやりたいというようなことで、それを皆さんが了解するのか、しないのかという形になっちゃうでしょうけれども。結局、続投してやりたいというんですから。

○委員（藤咲芙美子君） 要するに、議長はこのままずっと続けたいという思いが強い。そういうときに、ほかの議員さん達がそれを容認するか、それとも否とするのかということですね。

○委員（河原井大介君） その議論じゃないです。要は、議長はやりたいて言っているわけですから、じゃ、いいですよ。そしたら、それは分かりましたと。ただ問題なのは、委員会構成のところ、初日に委員会構成を議長が決めればいいのか、それとも最終日にやればいいのかという、その委員会を。だから委員会なんですよ、とにかく、そしたら委員会を変えなきゃいけないんだから。議長はやるんだから初日に小坪議長が委員会構成を決めるのか、それとも最終日でいいのか。

だって、やるやらないは、そういう議論じゃないですよ。議長が決めるという、選任するんですから、委員会は。だから、逆に言えばこのスケジュールに、初日に、3月3日の段階で委員会の選任を入れとけば、小坪議長が選任するわけです。どっちにしても、13日になったとしても、もし辞任しないとなれば13日でもいいわけですよ。

○委員（藤咲芙美子君） 初日は困ります。だから、やるんだったら、とにかく……

○委員（河原井大介君） だから、混乱しますよねと、さっきからの話なんです。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 初日は困ると言っても、2年前は、再選後は議長選をやって委員会構成をやって即予算審議に入ったんです。それを考えれば、初日にやったとしても戸惑いはないはずですよ。

○委員（河原井大介君） 鯉淵副委員長が言っているように、確かにいつやって構わないんです。むしろ、やると決まったら最初のほうがいいんです。個人の、質問の準備の仕方、委員会の質問は今回は関係ないんです。ルール上は関係ないです。どんな立場であれ全力を尽くすということになっちゃうでしょう。

だから、大事なのは初日なのか最終日なのか。これは議長が決めることです。辞めないということを前提にすれば、議長が初日に決めるのか、後半に決めるのか。今回のスケジュールの予定では13日の金曜日に委員会構成するとなっていますから、藤咲さんのご心配は当たらないと。全力で委員会やるんです。

○委員長（関 誠一郎君） だから、何の問題もないんです、初日にやっているから。

○委員（藤咲芙美子君） でも、要するに私たちは今、ここで議運で決められてそして渡されて、予算を見て、いろいろやりますけれども、私は今までは総務民生の範囲だったから、総務民生の中をやっぱりしっかりと見てきて、そして全協に臨んでいたということがあります。だけれども、急に、当初に3日に始めるときに教育産業に回ってくださいと言われたときに、それは納得できないじゃないですか。

○委員長（関 誠一郎君） 予算は総務に限らず全般で見てくださいと。

○委員（藤咲芙美子君） だから、そういうのは、だからもっと今の時点で決めていかなくちゃ、やっぱり納得できないでしょうということ。

○委員（河原井大介君） じゃあ藤咲さん、今の話だとこのスケジュールでいいということとでいいんですよ。

○委員（藤咲芙美子君） もちろんです。

○委員（河原井大介君） 結論から言うと、この会期の日程でいいということですね。

○委員長（関 誠一郎君） だから、初日に常任委員会決めるか。それともこの日程どおりいくかということなんですよ。

○委員（藤咲芙美子君） ああそう。この予定どおりでいっちゃったほうが私はいいかなということですよ。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲さんはこれが望みですよ。

菌部委員。

○委員（菌部 一君） 1点確認したいんですが、最初、議長が言われたように議長は辞表を出さない限りはその職は残るんですよ。そういうことになるんでしょうね。だから、あとは粛々とそれでやっていく。

○委員（河原井大介君） だから委員会が初日なのか、後半なのかっていう議論にしかない。どうでしょうか、委員長。

○委員長（関 誠一郎君） 初日に委員会構成やっちゃうのか。それで、新しい委員会で予算を審議していくのか。それともこの日程でいくのか、今回。ということなんですけども。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 僕は、先議でいかせていただければと思います。もう総務は長いんで。

○委員（小林祥宏君） 難しい問題だけれども、これ当然、初日に人事案件、常任委員会、それを決定してから審議が始まるのがよろしいんじゃないかと思います、私は。終わっちゃってからで、そういう問題が出てくるよね。いろいろな、これ常任委員会、各広域の問題、そちらこちら、監査委員の問題、いろいろあるわけですよ。

○委員（河原井大介君） 議長辞めないなら初日に先議しちゃって。

○議長（小塚 孝君） それは皆さんで議運で決めていただければ。

○委員長（関 誠一郎君） 常任委員会の改選も初日にやったらというご意見が多いですけども、どうでしょうか。

○委員（藤咲芙美子君） 困ります。だめです。

だったら、ちょっともし提案なんですけれども、今日議運でこういう問題が出たからということで、次の日かその後の定例会までか、もしくは全協までかでもいいんですけども、議員全員を集めて聞いていくとか何かするかしないとだめなんじゃないですか。それを議運で決められないのかと言われるようなことがあれば、我々ももっと考えなくちゃならないけれども。初日では私、納得できないのでだめです。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、もう日程がないんです。今度の金曜が全協ですから、もうそこで方向性を決めていかないと、当初ではもう3日では間に合わないですから。だからここで。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 確認します。我々も、事務局もいろいろ悩んで、みんな新人ばかりで我々も過去のことが分からないので調べながらきました。それで、先ほどすぐに3月何日が任期ですよというような、そういう調べた中で3月21日までが任期だからそうなんだと。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 11日と言っていたでしょう、僕に。そもそも議員の任期が基本でしょうよ。決めたもの、基本じゃないでしょう。議長選があったのが基本じゃなくて、議員の任期が基本でしょう。

○議会事務局長（阿久津雅志君） だから、我々事務局は、そういうふうを選任されたのは3月22日だったですから、3月21日だと判断して、2年間という条例でなっていますから、3回受けるんだけど仕方がないのかなと判断して、過去も今までも、こういう運営でやってきていますから、我々事務局としては納得してご提案しました。

もし、今の議論でいって、初日に委員会、別にそれは我々状況に何ら関係ございません。決定しても何ら結構ですが、2年間という読み方をちょっと前倒しにすることになるんですが、それはマイルールでオーケーとするのか、その辺も含めてご議論いただければと思います。以上です。

我々は、事務局はどちらでも、事前に分かってないとシナリオつくれませんので。

○委員（河原井大介君） ちょっと大事なことなんですが、法律の兼ね合いというのはルール上は法律じゃないんですよね。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 条例です。

○委員（河原井大介君） 条例ですね。条例では任期なんです。任期満了後。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 「2年間とする」となっています。

常任委員の任期は2年とする。ただし、後任者が選任されるまで在任する。

○委員（河原井大介君） 鯉渕さんがおっしゃっているように、11日というのがあれなんです。だったら、10日に替えればいいんですか。予算委員会はその後でもいいし。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、2日目に予算委員会やるのが結局おかしいだろうという話も出ています。要するに、常任委員会で3回、予算をやると。

○副委員長（鯉渕秀雄君） これ議事日程、ちゃんと議長と相談しながら組んでいるでしょう。日程、こういうものは。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 相談しているつもりですが。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 相談しているんだっいたらいいんでしょうよ。

○議長（小坏 孝君） 今までのやり方で。

○委員長（関 誠一郎君） ずっとこれでやってきたからね。

○議長（小坏 孝君） 議運で、開催日も年間の予定も決めてあるし、そういう中で。

○委員（河原井大介君） でも、10日に改選でもおかしくないですね、委員会は。先議はね。確かに。

○委員（藤咲芙美子君） 辞表がなければ、4年間続投していいという条件というのは、条例とか何かで今、どうなのかなと言ったんですけれども、それはどうなんですか。確認をもう一度お願いしたいんですけれども。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 地方自治法では4年と。議長の任期は4年と決まっています。ですから、辞表を出さなければどうしようもないんです。

○委員（藤咲芙美子君） なるほど。

じゃ、とにかく議長は4年間続けたとしても、常任委員会は。

○委員（河原井大介君） 常任委員会の選任のタイミングがいつなのということです。

○委員（蘭部 一君） そしたら議長、やっぱりそのときに委員会も変えるべきだよ、新しく。

○委員（河原井大介君） 初日に変更するんですか。

○委員長（関 誠一郎君） 委員会構成をやって、その委員会で予算を審議していくと。
そうすればいいでしょうよということ。

○委員（片岡藏之君） それが一番ベターだと思うんだけどね。

藤咲さんは、審議を応じられないという話だから。じゃなかったら1日、間を見て。

○委員（河原井大介君） だから、次の週には持ってこれないですか、予算委員会。逆に。

○委員（片岡藏之君） じゃなくて、木、金に。1日置いて。

○委員（藤咲芙美子君） いや、そういうわけにはいかない。やめて、予算の審議するのは、そんなに簡単に審議しないで、簡単に賛成、反対と言えるものじゃないですよ、この予算は。

だから、普通の3月予算と、9月の決算の時期のほかにあるじゃないですか。そういう、そんな簡単にできるものじゃなくて、この予算とか決算というのは、本当にきちんと審議しなければ納得できないんです。その期間というのをやっぱり1日では納得できません。やっている暇ありませんので、時間がないです。これだけの予算書、報告書を全部見て全協に出なくちゃならないんですよ。それを1日でやれなんて、替えてやれというのは納得できません。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だって、2年前はきちんとやっていたでしょうよ。

○委員（藤咲芙美子君） いや、物の見方が違ってきていますから。

○委員長（関 誠一郎君） まとめましょうよ。初日にやるのか、それともこの案のとおりいくのか。それ決めましょうよ。

じゃ、議運として皆さんにもまたお願いしなきゃならないですから、ほかの議員さんにも。初日に構成をやるという方、挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（関 誠一郎君） じゃ、そういうことで、初日にいたしました。よろしく願います。

そうすると、この議事日程（案）はずれます。

じゃ、3日に構成をするということで、よろしく願います。

○委員（河原井大介君） 先ほど、片岡議員がおっしゃったように、確かに1日遅らせないと委員会のメンバーの構成とか他々あるでしょうから、時間をもう少し。

○委員長（関 誠一郎君） 予算の日にちですか。

○委員（河原井大介君） 日にちを少しずらしてもらおう。

○委員（片岡藏之君） 1日開けて、木、金に。

○委員（河原井大介君） たしか、メンバーが替わっちゃったり大変でしょうから。

○委員長（関 誠一郎君） 新たな構成になるということで、予算委員会、特別委員会をずらそうと、木、金というお話がありました。

○委員（藺部 一君） 希望したところにそれ、入ってくればいいのかもしいんです

が。ただ、ずらしたほうが1日余計に審議した……。

だから、3日に委員会構成ができるんだよね。

〔「できる」と呼ぶ者あり〕

○委員（**藺部 一君**） そしたら、私も。

○議長（**小坪 孝君**） 間空けっぺということなんだ。

○委員長（**関 誠一郎君**） 要するに自分の担当が変わるときに、曜日が変わってきますので。

じゃ、水曜日を議案調査だね。木、金が、予算特別委員会を開催すると。最終日の常任委員会の選任等は、これ1番上に上がっていきます。3日に上がってきますので、よろしくをお願いします。

これでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（**関 誠一郎君**） ありがとうございます。会期につきましては、皆さんの審議のとおり変更したいと思います。

次に、④当初予算案の取り扱いと審議方法についてを議題といたします。

事務局員、説明をお願いします。

事務局。

○議会事務局長（**阿久津雅志君**） それでは、当初予算審査の取り扱い、審議方法についてのご説明を申し上げます。

11ページ、資料4番をお願いいたします。

日程がずれます。4日、5日だったのが、5日、6日に変更になった内容になってございまして、この予算審査です、日程はずれますが、予算審査の取り扱いと審議方法につきましては、城里町当初予算審議要領に従いまして審議いただいております。当初予算案審議要領には、「予算は予算特別委員会を設置し、議案を付託し、常任委員会方式により所管の予算について審議する」とありますので、予算特別委員会を設置しご審議いただく案となっております。

事務局から以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（**関 誠一郎君**） それでは従来どおり、特別委員会を設置して、その前にこれについて皆さんご意見ありますか。大丈夫ですか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（**関 誠一郎君**） それでは、従来どおり特別委員会を設置して、分科会方式による審査ということで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（**関 誠一郎君**） ありがとうございます。

それで、戻って申し訳ありませんが、一般質問の日程、5名は決めたんですけども、日程が決まっていないので。

10日に一般質問が入ります。皆さんご確認をお願いいたします。

最後に、(2)その他であります。委員の皆様方からまた執行部及び事務局から何かありましたら、よろしくをお願いいたします。

委員の皆様、ないですか。なければ執行部で。

財務課長。

○財務課長（山崎秀樹君） 例年、当初予算を、各新聞紙等にプレスリリースする予定ではありますが、それを本日は行いたいということで、まずはお知らせ、お願いしたいと思います。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 今年度城里町は一般会計は何億円ですということを事前に新聞に出したいと。

○議長（小坪 孝君） いつ出すの、それは。

○財務課長（山崎秀樹君） 今日夕方、これ終わった後で。

○議長（小坪 孝君） 委員会にも示さないうちに出しちゃうの。

○財務課長（山崎秀樹君） 一応、その予定であります。

○委員長（関 誠一郎君） 分かりました。

ほかに。

総務課長。

○総務課長（鯉渕和己君） 総務課からなんですけれども、日程33、議案第30号 城里町教育委員会委員の任命について同意を求めるということについてという案件がございますけれども、こちらは人事案件なので先議をお願いしたいと思います。

それと、もう一件、工事請負契約の締結についてということで、行政防災無線の契約の承認を追加日程で提出したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。一応今、入札にかかっていまして、3月5日開札の予定です。よろしく申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） 日程15の契約ですか。

○総務課長（鯉渕和己君） 違います。それはまた別に。

○委員長（関 誠一郎君） これ載っていないの。追加で出すんだ。

○総務課長（鯉渕和己君） はい。

○委員長（関 誠一郎君） 最終日ね。

○総務課長（鯉渕和己君） はい。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） 今の、ちょっとなんですけれども、当日に出さないで何とかできないですか。もう少し早く審議できるような状況で出してもらうわけにいかないんですか。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、今、総務課長がお話しされたように、開札が5日なので。ということでご了解願いたいと思います。

ほかに。

○財務課長（山崎秀樹君） 報告事項なんですけど、財務課で、第29号で、平成30年度の町の統一的な収入、財務書類の報告をするわけなんですけれども、この中で報告の仕方なんですけど、皆さんが分かるように全部説明すれば一番、報告の仕方としてはいいとは思いますが、皆さんが分かるように全部報告しているとかかなり時間を費やしてしまうので、概略の目的とか、そういうのを説明した上で、後は皆さんに熟読していただくような形をとってもよろしいですか。

報告なので、概略で併せて説明したとは思いますが。

大丈夫ですか。

○委員（藤咲芙美子君） 概略できちんと話ししてくれるということ、説明してくれるということですね。

○財務課長（山崎秀樹君） すみません。1つ始まっちゃうと、全て、全部通していかないとなかなか意味が。この冊数では報告し切れない文章なので、本来の文章は、まとまったやつはもうちょっと分厚いんです。これはまとめたものなので、ちょっと説明が、これも概略なんですけど。

○委員（藤咲芙美子君） それでは出してくれるんですね。

○財務課長（山崎秀樹君） それで出しています。

○委員（藤咲芙美子君） 出しているんですね、いいです、じゃ、分かりました。

○委員長（関 誠一郎君） 執行部のほうからないですか。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 確認させていただきます。

戻りますが、最終日にある予定でした常任委員会の選任報告を初日にやっちゃいますと。1日開けて予算特別委員会が開催されますので、もしかして委員会変わりましたらその委員さんに対する通知文も、もう事前じゃなくて控室あたりで出席をお願いしますと、そういう感じでよろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議会事務局長（阿久津雅志君） それから、いろいろ議員さんのあれから、予算特別委員会で、執行部は既にこの予算書を基に読み原稿を作ってきています。読み上げる形式で説明する読み原稿を作ってきています。それでもっと簡単に、簡単にと言っても、毎回毎回声はかかるんですけども、シナリオを作ってきていますんで、途中でこれを変えるわけにいかないんで、各委員長、もっと何かやり方を変えるんだという話をちらほら聞いていますが、もしそういうことがあれば、今回言っておかないと執行部に伝わりませんのでお願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。

○委員（河原井大介君） 2年間、委員長、説明させていただいて、今回は変わりますけれども。

2年間、やはり1日で大体予算委員会をやるんですけど、やはり質疑から私は入ったほう

がいいのかなどというふうな感覚を持っています。というのは、やっぱり午前中だけで数字を読み上げていただくという、確認する作業が2時間くらいかかりまして、やはり審議時間をとったほうが予算委員会らしいのかなと。2日とれば初日に数字を聞いて、2日目は質問となるんですけれども、なかなか日程的にも難しいと、1日で終わりにするのであれば、やはり質疑からスタート、10時から。そのほうが間違いないだろうと思う。

事前にペーパーありますから、読み込んで各議員の技量、器量によって、質疑からのスタートのほうの委員会を、ぜひ予算委員会でやっていただければと思います。替わる委員長さんでしようけれども。

○委員長（関 誠一郎君） どうですか、執行部の方。質疑から。

○財務課長（山崎秀樹君） それはやり方なので。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） 質疑からもいいんですけれども、主要事業の主要事務事業があるじゃないですか、特別につくるやつ。あれが、まず最初に出していくとか。質疑していくとか説明をして、それで質疑していくとかというふうにするとか。

要するに、主要事務事業のやり方も、かなりきちんと見るべきじゃないかなと思うんですけれども、それをまず審議の一番最初にもってきて、それからこちらのほうが質疑にもっていくというふうにしてはどうかなと思うんですけれども。予算書の質疑にしては、

○委員長（関 誠一郎君） 河原井委員。

○委員（河原井大介君） 先ほど、確かに藤咲総務副委員長が、今おっしゃったように、その問題を解決するには、その主要事業のペーパーがあります。ただその中身というのは意外に雑駁というか大雑把なんで、今度からは歳入もそうですが、歳出も予算の見積書等々、その細かいペーパーを事前に把握して、要は財務課を通過して町長査定まで行われている文字起こしのペーパーを、ある程度委員会からお示しする、文書全部だと膨大ですから、ある程度の部分だけは開会前に、開会の初日にはそのペーパーが手元に届くようにしていただけると、非常に助かると思います。それは各総務、予算の委員長さんからの、委員長というか、草案があると思うんですが。

もっと、細かい資料が欲しい場合だとクリアできると思います。

○委員（藺部 一君） 誰が委員長になるか分からないでしょう。

○委員（河原井大介君） 今回は分からないですけれども。今後はそういう形がいいんじゃないかと。

○委員（小林祥宏君） ただ、のっけから説明が執行部からなくて、質問からというのでもいいけれども、的が大丈夫かなそれ、ある程度。こういう予算だということは、会期前に概略的なのを説明しないと。

○委員（河原井大介君） どうなんですかね、概略で説明するその数字を確認しても、質問する内容が時間が多ければ多いほど熟読して考えますね。深堀りできるということです。

○委員長（関 誠一郎君） よしあしだよね。最初から質疑にいつちゃうのもいいと思う、いい方法かもしれないけれども、ただ予算の説明が終わらなくなっちゃうよね、全部、時間的に。そういうデメリットもあると思うんだよね。

○委員（河原井大介君） 本来だったら、どこの議会も、全国の自治体は2日とっているんです、通常。2日とるんです。予算説明の時間1日と、質疑を集中する2日目。ただ、なかなか難しいというケースがあったようなので。

○委員（小林祥宏君） 予算というのは見積もり、概略だから決算とはまた違いますよね。決算はいい塩梅に抜くわけにはいかない。頭からやったら最後までやらなきゃなんない。

○議会事務局長（阿久津雅志君） では、今までどおりで大丈夫ですか。

○委員（河原井大介君） 皆さんの意見が大事ですけれども。新しく委員長さんが決めることですけれども。

○委員長（関 誠一郎君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） 私は、予算書は本来ならば、予算書全部、当初からきちんと今までのように説明をしてほしいと、その中から見つけて説明する中でおかしいことはきちんと聞いていくとかというのはできると思うので、本来ならばそれはやるべきだと思います。

しかしその時間がない、それから主要事業、特別予算事業、特別決算とか、いろいろ予算のは特別事業、国保だとか水道とか、そういうのありますね。そういうのが、時間がなくて省くということが今までも何回かあったんです。ですので、それは本当にどうしたらいいのかなというところなんです。

ただ、私はきちんと納得できるまで質疑したいので、質疑には時間かかるのでそういう意味で、そっちの特別会計に時間がなくなってしまうというのはあったのかもしれないんですけれども、どうしたらいいんでしょうね。どうしてもそれが、大変だというのであれば、とにかくさっき言ったように、主要事業から、事務事業からやってもらってもいいかなというのはあるんですけれども。それはとにかく、それも質疑からじゃなくてきちんと説明をしてもらった上で質疑に入るということにしてほしいんですけれども。

○委員長（関 誠一郎君） それは各委員長にお任せするしかないな。

○議会事務局長（阿久津雅志君） すみません、じゃ、私のほうも執行部のほうの説明の仕方を事前に言っておかないと、皆各課説明資料を作って準備していますので、では今までどおりということで各委員長が決まったらそこ、省けよって言われて、ただ途中でもうちょっと簡略化するというのは無理ですよ。ある程度読み原稿ですもんね。

○財務課長（山崎秀樹君） 事前に簡略化ということで、予算を前年度に対しての対比とかそういうのはみんな省いているんです、今は。なので随分簡略しているのかなとは思っていますけれども。

○委員（藤咲芙美子君） だから、大事なものを省かれたんでは我々困るので、そののと

ころはやっぱりきちんと見ていかなきゃなんないなと思うんですけども、そのところ、省いていいところと省いちゃいけないようなところがある場合、我々はきちんと見るべきなのかなと思うし、審議は我々にかかるかなと。

○委員長（関 誠一郎君） そうですね。それに尽きます。

○委員（藤咲芙美子君） あと、ひとつ要望があるんですけども、執行部に、そのときに、今回はあるかどうか分かりませんが、条例の改正とかいろんなもので物すごく分厚いものとかいろんなものがあります。そういうようなときに、これはこういう条件で、こういうことで条件が変わります、改正されます。こういうことからこういうふうが変わりますとあって、説明書は入っているんですけども、物すごく難しく我々の頭の中では本当に、それを読み切れないような内容のものがあるので、専門家の中から簡単に、これはこういうふうに変えてあって、これはこんなふうに変更されます。今後こんなふうになりますよというようなことで、この町としてはこういうふうに変わっていきますというような、概略的でも、今さっき言った概略、そういうようなものが、そこに示してもらえれば我々も、こんなふうになるんだというのが分かるので、そういう概略みたいなのを少し提供してもらえればいいのかというの、非常に助かる場所なんですけれども、検討いただけますでしょうか。

○委員長（関 誠一郎君） まち戦課長。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 今、議案書で配られていると思いますけれども、その後ろに説明資料を付けるということでしょうか。

○委員（藤咲芙美子君） はい。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 今までの説明資料ではなくて、具体的なものを。

○委員（藤咲芙美子君） そう。具体的に簡単に、ここは今回はこういう改定がされます、町としてはこういうふうにして進めていきますというような概略的なところ。難しいですか。

○委員（小林祥宏君） ちょっと難しいんじゃないの。

○委員（藤咲芙美子君） だったら、その条例が、ぐんたらぐんたら長いことを言われて、それを読みこなすには時間がないんです。これ物すごく。

○委員（小林祥宏君） そうなんだよね、確かに。だから条例というのは、2項を削除して3項を入れるとかと言って、それを説明するのは、みんな読むようなことになっちゃうから、その辺は分からないときには執行部あたりで、あとは。聞くほかないのかな、それ。

○委員（藤咲芙美子君） 時間がないです。もっと長い時間でとってくれるのであればいいんですけども。

でも、この予算特別委員会の中で質問することとか、そういうのもあるんですけども、でも、全協で質疑するので、全協までに私はそれを見ていきたいというのがあるのね。この中でだって、3日には質疑できないじゃないですか。分かんないと言っても。最後です

よね。議案に対しての質疑するのは。

○委員長（関 誠一郎君） ただ、全協である程度説明はいただけますので、28日に。ちょっとご理解のほどよろしくをお願いします。

○委員（藤咲芙美子君） いや、ほかの県ではみんなよくやっているんですよ、そういうふうにして。それが町はできないということではないと思うんですけどもね。

○副委員長（鯉渕秀雄君） できるでしょうよ、どうにでも。日程変更すればいいんです。できるでしょうよ。うちは、できれば予算議会と決算議会は、日程を長めにとりましょうというんだけど、なかなか長めにとっていただけなくなっちゃったんで。

○委員長（関 誠一郎君） 前、2日とったことあるよね。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 予備日を2日とって、予備日入れて、やっていたこともあるんですよ。ところが1日で終わらせてしまいましょうなんていうのが始まったもので、1日になっちゃったんです。

総務はちょっと、民生のほうの特会があるもので、長いんです、総務は。総務は2日とりましょうというわけで、2日とったんだけど、1日で終わりにしましょうということになったんで。

○委員（藤咲芙美子君） やっぱ、ほかのものとは違って、予算とか決算とかというのは、十分審議時間とってほしいなと思うんですけども、特別にね。

○委員（片岡藏之君） 常任委員会は3つにしなくちゃならないかな。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 総務がちょっとボリュームがありすぎるね。

○委員（片岡藏之君） 片方だけに寄っちゃっているからね。

○副委員長（鯉渕秀雄君） それは日程の取り方次第。

○委員（小林祥宏君） いずれにしても、これ日程が決まっちゃったんだから、今回は。

○委員（藤咲芙美子君） それはないでしょう。決まっちゃったんだからじゃなくて、それを決めるのがこの委員会の審議なんだから。

○委員（小林祥宏君） 今のあれでは決まったから。

○委員長（関 誠一郎君） この流れでは、1日で進んできちゃっているから。

○委員（河原井大介君） ただ、予算委員長、特別予算委員長がもう一日必要だというような判断があれば当然、議案調査の中に当然入ってきますから。

それは、特別委員長の判断なんで、そのときに問いかけることは出来るかと思います。とりあえずこのスケジュールはということですから、あくまでも。

○委員長（関 誠一郎君） で、ご理解いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ声あり〕

閉 会

○委員長（関 誠一郎君） 以上で、令和２年第１回定例会に伴う全議案について審議を終了いたしました。

ここで、閉会に当たりまして、鯉淵副委員長よりご挨拶をいただきます。

○副委員長（鯉淵秀雄君） それでは、長時間にわたり、慎重審議、大変ありがとうございます。

以上を持ちまして議会運営委員会を閉じます。

大変ご苦勞さまでございました。

午後 ３時 １ ７ 分閉会